



Join us!!

横浜市立岡津小学校 国際協カクラブ通信【Join us!! ジョイナス】

令和 2 年 10 月 7 日 第 2 号

担当 塚本靖則 小木曾里奈 正木悠也



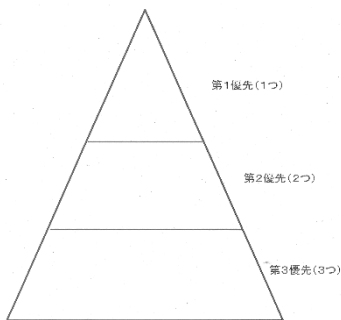
アフリカってどんなイメージ？ライオン？砂漠？ え、ごみの山？

「岡津と世界をつなげよう！」を合言葉に活動を進める「岡津小学校国際協カクラブ」、第2回の活動が9月30日（水）にありました。今回のテーマは「アフリカ」と「環境」。昨年度に引き続き、JICA 横浜の職員の方をお招きしてお話を伺いました。まず「アフリカのイメージは？」と聞かれると、「動物がたくさん」や「自然がいっぱい」、「砂漠が続いている」、など様々な意見が出ました。広大なサバンナにライオンやシマウマなどたくさんの動物たちがいるような子どもたちが思い描いたアフリカとぴったりの部分があれば、大都市には高層ビルが立ち並んでいたり、マサイ族の人々がスマートフォンを持っていたりと子どもたちが想像もなかったような部分もあり、子どもたちはとても驚いていました。



○優先順位で並べてみよう！

- あ. ゴミを燃やす処分場を作る
- い. リサイクルをする施設を作る
- う. ゴミを減らしたり、リサイクルする方法を伝える
- え. プラスチックを使うのを減らす法律を作る
- お. ゴミがなぜ多いのか、現地の人に話を聞く
- か. 現地の人たちとゴミ拾いキャンペーンをする



アフリカで近年問題になっている、ごみ問題についても教えていただきました。見渡す限りごみの山の写真を見た子どもたちは、驚きを隠せない様子でした。日本でもプラスチックバッグの有料化で話題となっていますが、アフリカでもプラスチック製品の普及により、ごみの処分やリサイクルが追いつかずごみの山となっているそうです。そこで、子どもたちは開発途上国の課題に取り組む JICA で働く人になったつもりで、この問題を解決しようと考えてみました。アフリカにあるごみの山をなくすために、どんな方法が良いか6つの項目から優先順位をつけました。『『い. リサイクルをする施設を作る』を第一優先にします。理由は、ゴミを燃やしてしまうと環境に良くないので、リサイクルをする施設をまず作ったほうが良いと思いました。』、『『お. のごみがなぜ多いのか、現地の人に話を聞く』を第一優先にしました。外国

から来た人が、処分場やリサイクル施設を作っても、持続しないと思うからです。」などと様々な意見が出ました。JICA の方から、どれも間違いでなく、すべて JICA が行っている国際協力であり、その国やその国の人々に合わせた国際協力が大切であると教えていただきました。

これからの活動では、JICA や国際協力の仕事、特に環境問題に焦点を当てて、子どもたちと考えを深めていきたいと思えます。子どもたちには、将来どんな形であれ、世界の開発課題に問題意識をもち、自ら考え、行動する大人になってほしいと期待しています。



次回の活動日は 11月18日(水) 14:40~15:30 です